入居見込み確認書

令和　○　年　○　月　○　日

豊島区長

記載例

【宅地建物取引業者による記名】
住所　東京都千代田区霞が関○丁目○番地
氏名（法人にあっては名称及び代表者の氏名）
○○不動産株式会社　代表取締役　○○○○
宅地建物取引業の免許番号
国土交通大臣（　○　）第○○○○○○号
連絡担当者　○○○○
電話番号　03-○○○○-○○○○

私/当社が売買取引を仲介した下記の家屋については、現在のところ当該取引の買主が住民票の転入手続を済ませていない状態にありますが、当該取引時点において、当該取引の買主より、当該取引後に当該家屋を自己の居住の用に供する意向を有することについて下記のとおり確認しておりますので、その内容をここに証します。

記

家屋の表示	所在地	豊島区　南池袋○丁目○○番地
	家屋番号	○○○番
家屋の住居表示		豊島区　南池袋○丁目○○番○○号
入居予定年月日		令和　○　年　○　月　○　日
現在の家屋の処分方法		■①買主の持家を【 売却する ・ 貸し出す 】 □②買主が借りている家屋の賃貸借契約を解除 □③買主が借りている社宅（官舎）から退去 □④親族が【 所有する ・ 借りている 】家屋から退去 □⑤知人・パートナー等が【 所有する ・ 借りている 】家屋から退去 □⑥その他（　　）
入居が登記の後になる理由		■①抵当権設定を急ぐため（銀行から融資を受ける（抵当権の設定）場合） □②権利保全のため（銀行から融資を受けずに現金決済する場合） □③その他（　　）

なお、住宅用家屋証明書交付後、この入居見込み確認書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議はありません。

【買主による自筆署名（押印不要）**】**

氏名　○○○○

＜注意事項＞
1 当書面は、宅地建物取引業者が、買主である個人の依頼を受けて家屋の取得に係る取引の代理又は媒介をした場合において、当該宅地建物取引業者がご記入ください。ただし「買主による自筆署名」欄のみ、宅地建物取引業者の求めに応じて当該買主が自筆署名してください
2 「家屋の表示」の「所在地」及び「家屋番号」欄には、当該家屋の登記事項証明書上の所在地及び家屋番号をご記入ください
3 「家屋の住居表示」欄には、当該家屋の住居表示をご記入ください
4 「入居予定年月日」欄には、当該家屋への当該買主の入居予定年月日をご記入ください
※入居予定年月日は申請日から 2 週間以内の日付をご記入ください。2 週間を超えてしまう場合は、やむを得ない事情がある場合に限り申請を認めることがありますが、別途、疎明資料の提出が必要です （「よくあるご質問」項番 10 参照）
5 「現在の家屋の処分方法」欄は、①から⑥までのうち該当するものの□を塗りつぶすか、レ点を付けてください
（【 】内の項目は該当するものに丸印を付けてください。その他を選択した場合は具体的内容を記入してください）
6 「入居が登記の後になる理由」欄は、①から③までのうち該当するものの□を塗りつぶすか、レ点を付けてください
（その他を選択した場合は具体的内容を記入してください）